

通信簿から調査書点へ

新入試制度の入試は調査書点が重要です！

調査書点の出し方

氏名	スタディー中学 1年1組 吾妻太郎 2019年度前期評定									
教科	国語	数学	理科	社会	技術家庭	保健体育	音楽	美術	英語	
評定	4	4	4	4	4	1	1	4	5	合計
調査書点	4	4	4	4	8	2	2	8	5	41

上記は吾妻くんの中学1年生の前期の通信簿と仮定いたします。黄色の教科は実技教科。これを調査書点（高校に提出する点数）にすると2倍（受験は5教科なので、受験教科ではない4教科の実技教科は調査書点で頑張りを評価するためです）合計は41点となっています。オール5をとると満点の65点となります。

ただし上記は前期だけの評定ですので、実際には後期も合わせた学年評定が上記の計算で調査書点を出します。この65点の3学年分で調査書点は195点満点となるわけです。共通選抜ではこの調査書点を採用し、特色選抜では高校によって様々な計算式で出した点数を採用します。

つまり、中学1年生であれば6分の1。中学2年生であれば2分の1の調査書点が今回の前期評定でほぼ確定（調査書点は学年通年の点数・前期後期の2学期制なら）するわけです。

成績UPの為に

愛子教室では様々な取り組みの中、下半期にかけて集団指導で見落としがちな【個】の指導を実践しております。これは前にHPで掲載した内容です。また、どんな時にでも入会ができるようにその子の状況を分析し、その子が成績UPするための課題を別途に出しています（それぞれ得意不得意が違いますのでその子のやる課題の内容が違うということ）新制度入試に対応ということで実技教科のテスト対策。そして移行措置への対応等もしています。

ただし

上記は良いことばかり書いてある机上の空論（考えただけで役に立たない論）にもなります

自身で書いていて悲しくなりますが事実です（TT）。

そして

私がお伝えしたいのは、やることを知ったら動くことが重要だということです。

以前にもHPに掲載しましたが

情報（勉強の仕方・方法また勉強した内容）は

①知って一歩目 ②実行して二歩目 ③利を得て三歩目ということなんです！！

一歩目：知識を得る。二歩目：問題が解ける（解くではなく）。三歩目：（点が上がる・合格する）

塾は成績が上がらない生徒にこそ一歩目以降をしっかりと指導するべきです。愛子教室はそういう塾を目指しています。

愛子教室：022-391-7551（火曜～土曜 14：00～22：00 左記で出られないこともあります。）